



ほのぼの 謹賀新年

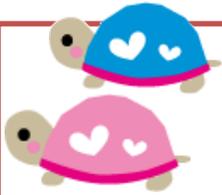


ご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様にとりまして良い年でありますよう祈念いたします。

昨年の12月11日に英国のキャメロン首相の呼びかけでG8認知症サミット(主要8か国首脳会議)が開催されました。現在、全世界で認知症の患者様が4400万人おり、今のまま推移すると2050年には1億3500万人に達するそうです。このサミットの閉会時に発表された声明では、認知症を世界的な重要課題と位置づけ、各国が研究費を大幅に増額すること、さらに国際的に連携して基金を創設して、患者様やご家族様に対する効果的な支援の在り方を研究すること、また、2025年までに治療法を見つけ出すことなどを謳っています。世界中の科学者の結束により認知症が完治する新薬が完成した初夢を見ました。実現したいですね。

(センター長 井上芳郎)



まるまる

「認知症の〇〇」



今回のテーマは「認知症の種類」です。

《認知症》と一言で言っても、種類や症状は多種多様に渡ります。今回はその中の『**前頭側頭型認知症**』についてお話ししたいと思います。

●前頭側頭型認知症●

前頭側頭型認知症とは、アルツハイマー型認知症では主に側頭葉内側や頭頂葉の委縮が目立つのに対し、前頭葉や側頭葉前方の萎縮が目立つ認知症のタイプです。前頭葉は、人間の本能的な衝動を抑え理性的な行動をとり、他人の気持ちを考えるという働きがあります。また、物事を計画・実行して、物事に対する興味や関心を維持する働きもあります。

この認知症のタイプはほとんどが65歳以下で発症し、性格変化と社交性の消失が初期からみられます。逆にアルツハイマー型認知症で見られる幻覚・妄想などは明らかに少なく、記憶障害などは初期では目立ちません。

特徴的な症状として…

- 自分や社会に対する関心が低下し、万引きのような軽犯罪をしてしまう。
- 抑制が欠如し、遠慮がなくなったり暴力行為や落ち着きがなくなる。
- いつも同じ動作をする、同じものを食べ続けるという常同的行為がでる。
- 感情鈍麻が見られ、他人に共感したり感情移入が出来なくなる。
- 興奮が見られたり、多幸的になることもある。
- 自発的な発語は減少し、いつも同じことを言い続ける。

上記のような症状はゆっくりと進行して行き、最終的には寝たきり状態になってしまうこともあります。

個人差があるため、必ずしも上記のような症状が出るとは限りませんが、もしもこのような症状が続くようなら早めの専門医受診をお勧めします。

しかし、この病気はいまだ十分に解明されていないため、根本的な治療薬はなく、対症療法が中心となります。

このタイプの認知症の方は特に急激な変化や刺激に弱いので、それを避けるためにワンパターンの生活を送ることが望ましいです。こだわりが強く、周囲に迷惑を及ぼすような行動を繰り返す場合には通所サービスなどを利用し、より良い生活がパターン化するように導きましょう。また、得意な作業を日課にしてみることで、それを行っている間は問題行動が減り、保たれている機能の維持にも役立ちます。

次回は **認知症の治療薬** についてお話しします



10/30 せたな町 講演会

認知症について一層理解が深まるということで脳の仕組み・脳の役割等『脳』についてセンター長より分かりやすく解説しました。

センター長が取り組んでいる認知症にならないための方法例なども紹介しました。50名ほどの方々からも認知症についての質問や意見を聞かせてもらい、貴重な時間でした。



11/13 せたな町 講演会

この日はせたな町大成区と瀬棚区の講演にお邪魔させて頂きました。初雪が降り、積雪がある中たくさんの方に来て頂きました(*^_^*)

せたな町までは車で2時間半ほどかかりますが、皆さん暖かく迎えて下さるので、いつも楽しい気分でお話しが出来ます☆是非、またお声をかけてくださいね♡



11/19 家族会 地域向け介護講座合同開催 さくら館施設見学

今年度2回目の施設見学会を開催いたしました。

前日から雪が降ったこともあり、少人数での開催でしたが、施設スタッフといろいろな話をする事ができました！来年度も見学会を予定しておりますので、是非ご参加ください。



10/31 家族会

今月の家族会は茶話会を開催致しました。ご家族の皆様が今まで苦労されたこと、うれしかったこと、役にたったことなどを、沢山共有することができました。みんなでお話して、少し楽になって、明日からも頑張ろうと思える会です。皆様のご参加をお待ちしております。



お知らせ

地域向け介護講座・家族会のご案内

地域向け介護講座(奇数月)・家族会(偶数月)ともに、14時より亀田北病院の講堂で開催しております。興味のある方はご一報ください。

家族会 平成26年2月27日(木)「認知症の症状について」
介護講座 平成26年3月18日(火)「今年度のまとめ」

※参加費は無料です。内容は変更になる可能性があります。ご了承ください。

出前講座のご案内

認知症疾患医療センターでは、認知症の疾患・治療・予防・介護など、認知症に関する様々な出前講座を開催しております。認知症疾患医療センターの医師・看護師・精神保健福祉士・臨床心理士が無料で講座をいたしますので、ご要望のある方はご一報いただければと思います。

編集後記

新年を迎え、認知症疾患医療センタースタッフ共々新たな気持ちで認知症への取り組みを試みていきたいと思ひます。

今年もよろしくお祈り申し上げます。

季刊誌担当 藤村・本間・川崎

【発行元】

医療法人 亀田病院 分院 亀田北病院
認知症疾患医療センター

〒041-0802

函館市石川町 191 番地 4

センター専用フリーダイヤル

0120-010-701

FAX専用ダイヤル

0138-46-5505

ホームページ

URL

<http://www.hakodate-kameda-hp.com>